

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 森

会議名: 令和2年度 第5回守山学区まるごと活性化プラン A プロジェクト会議

日時: 令和3年2月 11 日(木・祝) 午前 10 時から

場所: 守山会館2階 図書室

出席者: 井上代表、竹村、林、小野、山田、杉本

守山会館: 川上、森 市民協働課: 朝日

使用資料: 自治会ハンドブック-改訂版-(案)、各委嘱委員のあり方検討状況について等

議題

1. わがまちミーティング
2. 自治会の課題解決に向けた検討

会議要旨

内容

1. わがまちミーティング

- ・12月下旬、開催案内文を送付する準備を進めていたが、市担当課と協議し、コロナウイルス感染症による感染者が市内でも相次いでいる中、案内文を送付することで、市民に対する不安感をより煽るものではないかということや、オンラインのみの開催も検討したが、施設のネット環境の整備状況や、職員の操作技術不足等から総合的に中止と判断をした。

(代表) 市では、イベントや研修等が全て中止になっているのか。市の状況は？

⇒(事務局) 全てを中止するわけではなく、できるところからやっている。研修等では人数制限をする、公募する等という形で開催している。研修では講師を映し、職員にオンライン上で視聴していただく形では実施している。今回は、完全なオンライン形式での市民懇談会としては技術的にも環境的にも難しく、中止と判断した。市としては今後やっていきたい方向で考えている。

(代表) 開催するにあたって市で基準は設けてあるのか？

⇒施設の定員の収容人数の半分 or 2/3 以下、間隔を 1 m 以上あける、換気の徹底をする等、きちんとした基準(指標)はない。

(PJ 委員) ハード面は PC 購入等をして整ってきている。一方ソフト面が心配(PC 操作等)。研修など開催してもらうなどしていかないと・・・。

⇒(市民協働課) ICT 補助金今年度 71 自治会中 50 自治会ほどが申請済。自治会での ICT 化の意識づけになっているのではないと思う。

(事務局) 文書のやりとりを、紙ベースを減らしデータ化にする、緊急連絡体制作りを整える等を主に優先的に考えている。

◎来年度の開催方法どうするかを考えていく(オンライン会議も広げる準備をしておくべき)

2. 自治会の課題解決に向けた検討

(1) 自治会ハンドブックについて

- ・ ページ数・発行部数・・・約 36 ページ・カラー冊子・200 冊を発行予定

表紙の背景に色を付ける or 色紙で印刷する。(淡い色で)

- ・ R3 年 4 月より市役所の組織編成(各課の名称変更や部署移動等)がいくつかある予定であるため、内容確定後に印刷発注をする。

⇒ 3 月中旬～下旬に発注・納品できるよう進める。

- ・ 速野学区のベルヴィタウン木浜自治会の追加について ⇒ 市民協働課に確認する。

- ・ 追加記載事項について… ● 緊急時・夜間・休日連絡先 (P. 6「市の連絡先一覧」)

● 市の全人口数 (P. 15「学区自治会マップ」)

● 環境センター付帯施設の地図 (P. 14「すこやかセンター地図」下)

(代表・PJ 委員) 自治会に加入しない人に対して、「なぜ入らないといけないのか、入るメリット・デメリットは？」など聞かれる。説明を自治会に任せられているが、市からも市民に対しての促しをもっとしてほしい。(例えば転入時に市民課での手続き時など)

自治会加入は自由参加で、法的なしほりもないため、強制力もない。「自治会には、メリット・デメリットを総合的に考えても入る方がいい！」等と市からも示してほしい。

(PJ 委員) 市からのハンドブックはいつ頃発行するか？

⇒ (市民協働課) 市からのハンドブックについては現在準備を進めているところです。

※ 4 月の全自治会長会より配布予定

(2) 各委員のあり方検討状況について

各委員のあり方検討の進捗状況を事務局より説明。

(PJ 委員) 健康推進員は、公募で受講した方は自治会長通さず活動ができるか？現に存在する？

⇒ (事務局) 公募の方については、自治会長に言ってもらよう担当課から説明している。

そのため自治会長が知らない方はいないと認識しているはず。

(PJ 委員) 民生委員の報酬の行先は？個人へは？

⇒ (事務局) 担当課の方へ確認します。

決定事項

- ・ 自治会ハンドブックの内容および発注・納品時期
- ・ 次回会議 5 月 22 日(土) 午前 10 時から

次回以降について

- ・ 令和 3 年度の計画について